

氷の彫刻展

各地から腕自慢が

今回で19回目となる「氷の彫刻展」が3月8日、成田山新勝寺で開催されました。各地から集まったのは20人の腕自慢たち。チェーンソーやのみを使い、氷しぶきを上げながら1本135kgの氷柱3本を削り、作品を仕上げていきました。美しく透き通る作品に参拝客からは歓声が上がっていました。



完成まであと少し！

成田シティ・クロカン・レース

アップダウンのある
コースを疾走

緑道を中心としたクロスカントリー風のレース「成田シティ・クロカン・レース」が3月8日、プレイテック・スタジアム(中台陸上競技場)を発着点に開催されました。この日は、曇り空に低めの気温と、選手にとってはなかなかのコンディション。262人の選手が、中学生5km、一般6.5kmのアップダウンのあるコースに挑みました。出場者中、最年長だった76歳の粕川誠市さん(飯田町)は「完走を目標にしていたので、走り切れてうれしい。老人クラブの仲間を勇気付けたい」と笑顔で話していました。



下り坂でスピードに乗る中学生ランナー

親子たこづくり教室

天まで上がり

公津地区青少年健全育成協議会主催の「親子たこづくり教室」が2月22日、平成小学校で開かれました。60人の親子は黒田健一郎さん(寺台)の指導で、ごみ袋を利用した鳥たこを3時間かけて製作。完成したたこにマジックペンで絵を描き入れ、いざグラウンドへ。苦労して作ったたこが空高く上がる姿に、親子の歓声が響いていました。



上がった上がった♪



低学年にはちょっと難しいかな？がんばってお父さん！

笑いあり涙ありの 人情喜劇

演劇フェスティバル「NARITA ACT WAVE」の今年の演目は、市民劇団としては4作目となる「繫馬」^{つなぎうま}。昨年6月から40回を超える練習を重ねてきた団員たちは、2月28日・3月1日の両日、国際文化会館大ホールに大勢の観客を集め、熱演を披露しました。今回は、「男はつらいよ」の車寅次郎にあこがれる轟寅吉と、その寅吉にあこがれる転校生順吉をめぐるストーリー。寅吉の実家「駄菓子屋とどろき」を舞台に、家族と近所の人たちを巻き込んだ、笑いあり涙ありの、どたばた人情喜劇に仕上がりました。市民劇団では、次回公演に向けて新メンバーも募集しますので、興味のある人は国際文化会館(☎23-1331)に問い合わせを。



ちょっと懐かしい雰囲気のだ菓子屋が舞台に



「男はつらいよ」さながら、妹さくらを振り切って、家を出ていく寅吉



「種コマ」の打ち込みは簡単。結構ハマります

シイタケ作り教室

収穫が待ち遠しいね

久住公民館で2月28日、「シイタケ作り教室」が行われました。シイタケ栽培に使用するのは、コナラの丸太を乾燥させた「原木」と直径1cm・長さ1cm程のシイタケ菌が入った木片「種コマ」。原木にドリルで直径1cm程の穴を開け、金づちで「種コマ」を打ち込みます。慣れないドリルでの穴開けに悪戦苦闘しながらも、参加者たちはお互いに手伝ったりアドバイスし合ったりしながら作業を楽しんでいました。今回打ち込んだシイタケ菌が原木全体に行き渡り、シイタケが生えてくるのは早くて今年の秋だそうです。

子どもおはやしコンサート

小学生がリズム良く

小学生による「子どもおはやしコンサート」が2月22日、玉造公民館で開かれました。出演したのは、1月25日から毎週日曜日に行われた「子どもおはやし教室」の生徒12人と指導を務めた玉造下座保存会の皆さん。招かれた家族や友達が見守る中、5日間にわたって練習してきた太鼓や鼓、かねをリズム良く披露しました。



とてもにぎやかなコンサートに